

プラント状況確認結果(平成25年1月29日～2月5日)

平成25年 2月 5日
福島県原子力安全対策課

- 平成25年1月29日～2月5日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

⇒ この期間において、不具合等の連絡を1件(特記事項参照)を受けましたが、プラントの新たな異常はありませんでした。

また、発電所敷地境界モニタリングポスト、発電所専用港内の海水中の放射性セシウム濃度には、有意な変動は見られませんでした。

(1) プラント状況(2月5日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 ^{※2}
原子炉 ^{※1} (核燃料)	冷却	注水量 (m ³ /h)	4.4	5.6	5.6	—
		圧力容器 下部温度(°C)	18.4	31.2	31.4	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 (Bq/cm ³)(A系)	1.49×10 ⁻³	検出限界未満	検出限界未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系)(体積%)	0.00	0.06	0.17	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	12.0	13.3	11.4	22.0

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧下さい。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

(2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果(2月5日午前10時)

最小 2.8(MP6)～最大 6.5(MP3, MP7) マイクロシーベルト/時 ⇒[計測地点の地図](#)

(3) 発電所専用港内の海水中のセシウム137濃度の測定結果(2月4日採取分)

最小 4.2(物揚場前)～最大 60(4号機スクリーン(シルフェンス内側)) ベクレル/リットル

【特記事項】

- 1月30日 汚染水処理設備の淡水化装置No.2(逆浸透膜式)において、逆浸透膜の洗浄作業中(フラッシング操作)のところ、午前4時頃、本装置が設置されているジャバラハウスの床面に約30リットルの水漏れを確認した。建物外への流出はない。なお、バッファタンクには十分な淡水があるため、本装置の停止による原子炉注水の影響は生じていない。

(問い合わせ 024-521-1917)